

経営比較分析表（令和6年度決算）

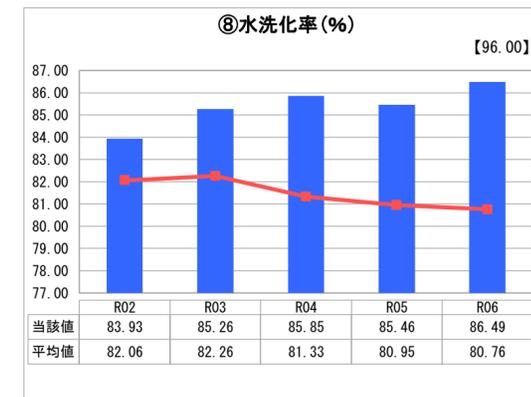
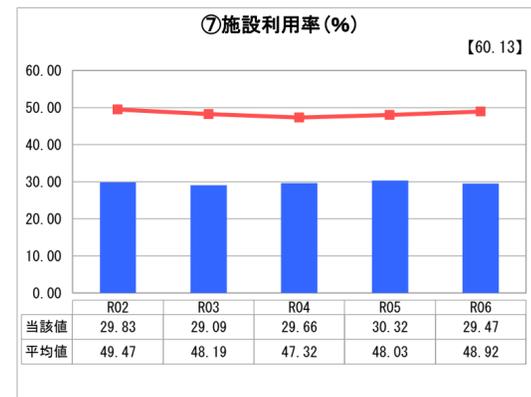
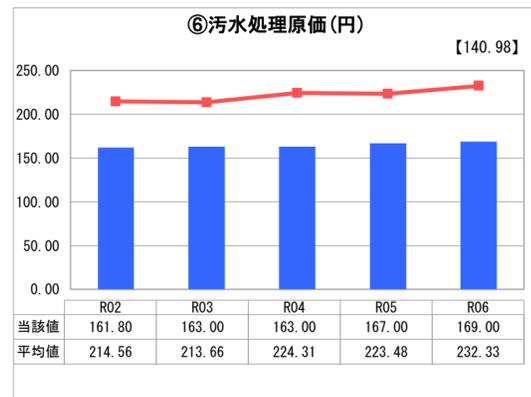
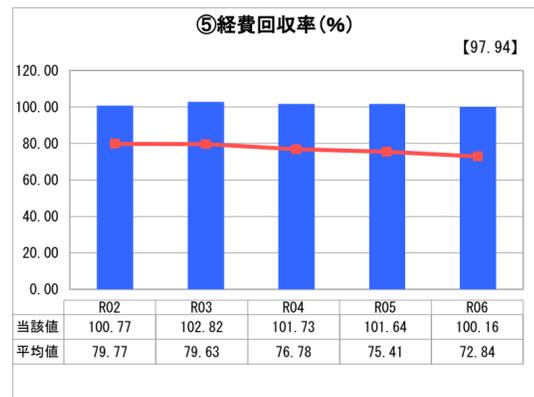
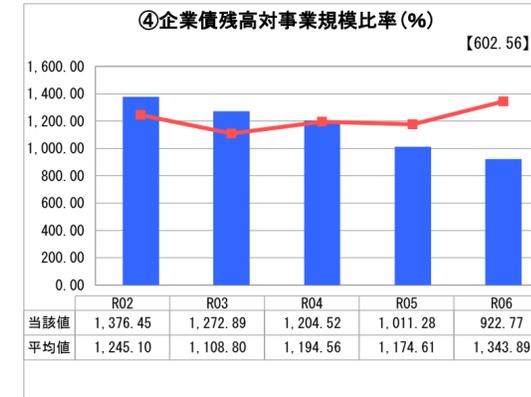
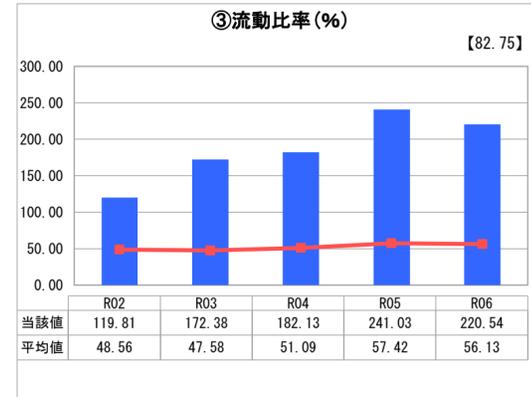
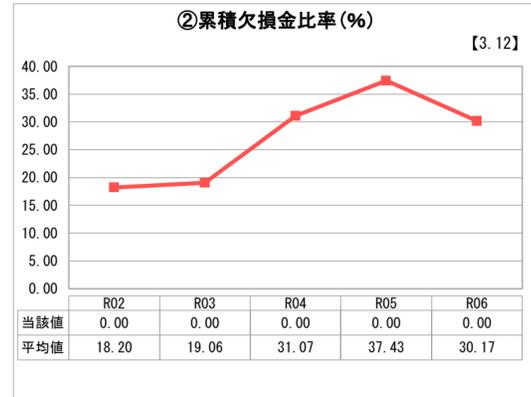
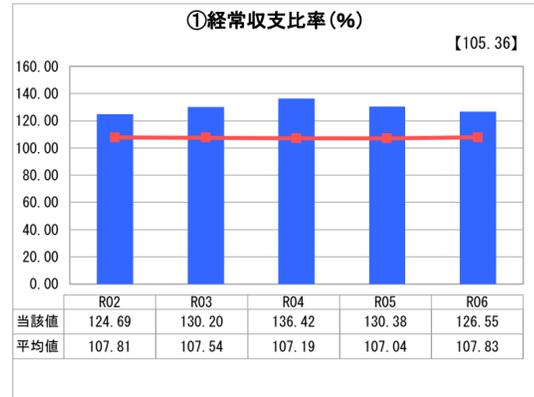
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.97	33.07	100.00	4,950

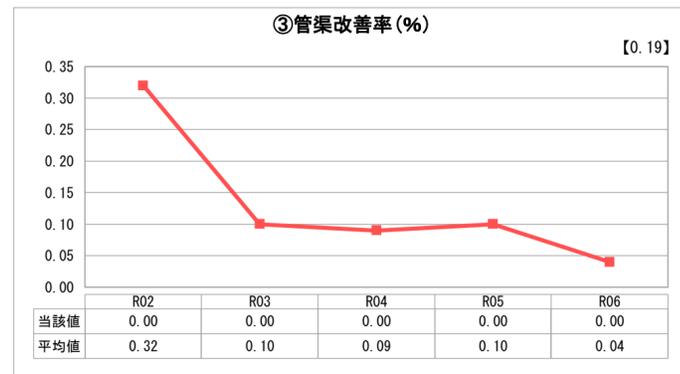
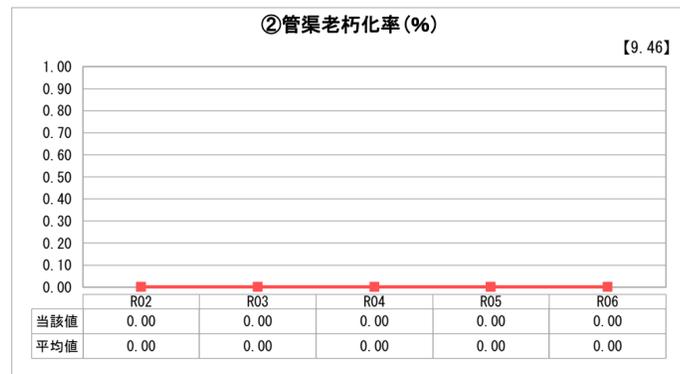
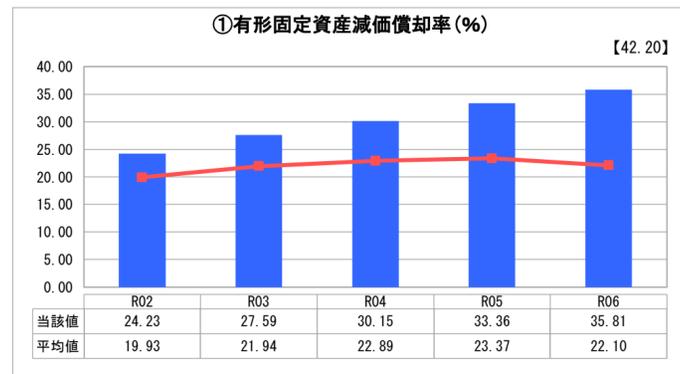
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,829	241.01	53.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,190	1.90	2,205.26

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

財務面においては、経常収支比率が前年度比で3.83ポイント減少したものの依然として100%を維持し、流動比率についても類似団体平均を大きく上回る良好な水準を堅持していることに加え、累積欠損金が発生していない健全な決算状況や、償還のピークを越えたことで下降傾向にある企業債残高対事業規模比率の推移、さらには前年度から1.48ポイント減少したものの100%以上を確保し自立的な運営基盤を示す経費回収率など、総じて経営の健全性は高い水準で保たれている。

一方、効率性の面では、汚水処理費の抑制努力により汚水処理原価が低く抑えられているという強みがある反面、少子高齢化の進展や節水意識の向上に伴う有収水量の減少を背景として施設利用率が類似団体平均を下回る状況にある。

今後は、更なる経費節減の徹底とともに、将来的な人口動態や施設更新時期を見据えた施設の統廃合を含む経営の効率化、および接続率向上に向けた施策を継続的かつ多角的に推進していく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は前年比2.45ポイント増と類似団体平均を上回って推移しており、多くの資産が法定耐用年数に近づくなど老朽化が進行している。供用開始から25年が経過し、経年劣化に伴う維持修繕費が増加傾向にある。これに対し、機械設備等については令和2年度策定の「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、令和3年度より計画的な改築を推進している。

一方、管渠については、現時点において大規模な更新・改良の予定はないが、引き続き計画に基づき適切な維持管理に努める。

全体総括

財務面においては、経常収支比率等の主要指標で100%以上を維持し、高い健全性を堅持している。

一方で、有収水量の減少に伴う施設利用率の低迷が喫緊の課題となっており、今後は接続促進や施設の統廃合による経営効率化を強力に推進する。

このため、令和7年3月に改定した「経営戦略」に基づき経営基盤の強化を図るとともに、令和7年度に策定予定の「下水道施設統廃合計画」を軸とした最適配置を進める。あわせて、ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築や、令和6年度に着手した耐水化・監視装置更新事業等を通じ、施設の長寿命化と防災・減災対策、管理体制の高度化を図ることで、将来にわたって持続可能な経営基盤を構築していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。